

3 使用上のお願い

取扱いについて

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。カバンに入れたり、体に身につけたりした場合には十分ご注意ください。
 - 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルが傷がつかないようにしてください。
 - 殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
 - 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
 - 長期間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。
- ※液晶、タッチパネルの破損は補償対象外となりますのであらかじめご了承ください。

置き場所について

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など温度が高くなる場所に置かないでください。変形、変色、故障や発火の原因となります。
しばらくお使いにならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れについて

- 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。
割れたり変色したり塗装はがれの原因となります。
- 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

メモリーカード（microSDカード）について

- メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 抜き差しする場合には、メモリーカードの端子（金属部）には触れないでください。
- メモリーカードの取扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損（消滅）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損（消滅）することがあります。記録されたデータの破損（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードを本機に差し込むときは、上下（表裏）の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。

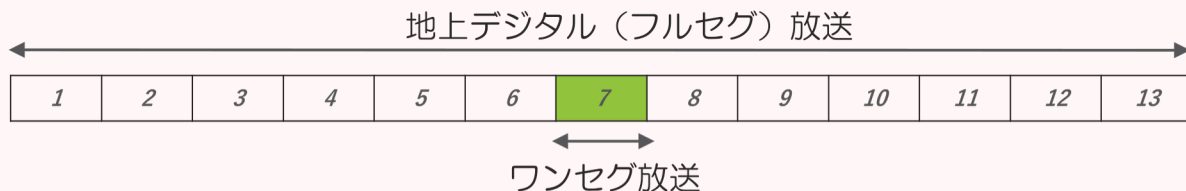
- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると破損、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本機から取り出したメモリーカードが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

テレビ受信について

- ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合必ずスキャン操作をしてください。スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず行なう設定です。
- スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局が変わる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。
- 本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。
- 建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

<<ワンセグとは>>

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。詳しくは社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ (<http://www.dpa.or.jp/>) をご覧ください。放送エリアのめやすは (<http://dpa-tv-area.jp//>) にてご確認いただけます。



フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも受信が可能で高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

ワンセグについての注意

放送エリア以外の地域では視聴できません。必ずご使用する地域で放送局のスキャンをして受信できる放送局を設定してください。放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承ください。受信状況が最も良くなるようにアンテナの設定を調整してください。

<<TVの設定>>

本製品をはじめてご使用になる前に、下記の方法で地上波デジタルワンセグ放送を受信するためのチャンネル設定を行って下さい。使用する地域で受信可能な放送局を自動的に選局して記憶いたします。(スキャン操作) 移動したときや引っ越しなどで受信地域が変わった際にも再度設定してください。スキャンを行う時は受信状況の良いアンテナ設定後行ってください。

チャンネル設定 (スキャン操作)

①アンテナの準備

本体の右上についているアンテナを引き延ばしてください。

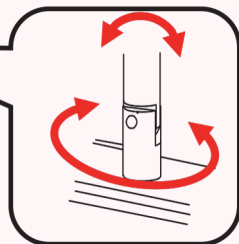
※アンテナの向きは受信良い位置に調整してください。

<注意>

※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。

①アンテナを引き延ばす

※アンテナの向きは受信の良い位置に調整してください。



②チャンネル設定 (スキャン操作)

(1) 「メインメニュー」の「テレビ」アイコンをタッチします。

(2) 安全のための警告の内容を確認しましたら「確認」をタッチし、ワンセグTVの操作画面を表示させます。

(3) ワンセグTVの操作画面の「設定」 ボタンをタッチします。

(4) 地域ボタンを「A11」または現在の地域～都道府県の順にタッチします。

(5) 「スキャン」ボタンを押し、お近くの受信可能な放送局を選局します。スキャン後、探し出した受信可能な放送局を抽出します。

(6) 「適用」を押し受信可能な放送局を記憶させます。

(7) チャンネルリストからお好みのチャンネルを選び視聴してください。

また、チャンネル「+、-」ボタンで選局もできます。

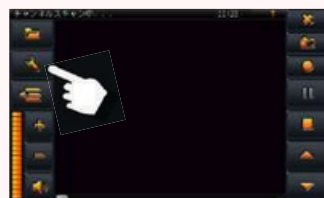
②-(1) 「テレビ」をタッチ



②-(2) 「確認」をタッチ



②-(3) 「設定」 をタッチ



②-(5) 「スキャン」をタッチ



②-(6) 「適用」をタッチ



チャンネル
設定完了

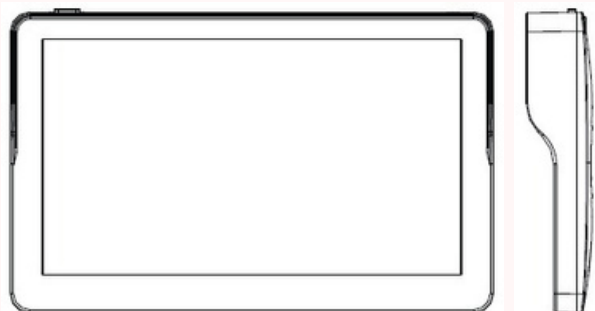
「A11」又はお住まいの「地域」をお選んで「スキャン」をタッチする。
※放送局がうまく取れない場合は、「A11」を選んでスキャンしてください。

スキャンが終わると
「スキャン完了」
が表示

4 商品構成

本機を使用する前に、本体および付属品の確認を行ってください。

① 本体



② 車載用アダプター



③ 車載用吸盤スタンド



④ 吸盤ベース板

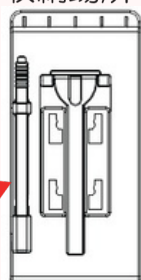


⑤ スタイラスペン
(車載用スタンド裏に付属)



スタイラスペン位置

スタイラスペンの
収納場所



⑥ 取扱説明書
(本体操作説明書/ナビゲーション操作説明書)



⑦ 滑り止めシート

本製品の緩衝用包装材としてクッションシートを付属しています。

このシートは、滑り止めシートとしてお使いいただけます。

<ご注意>

炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では長時間放置したりしないでください。

はり付きや色移りになることがあります。

ご使用後は、取り外して日陰など60℃以下のところで保管してください。



滑り止めシート

※イラスト、画像が実物と異なる場合があります。

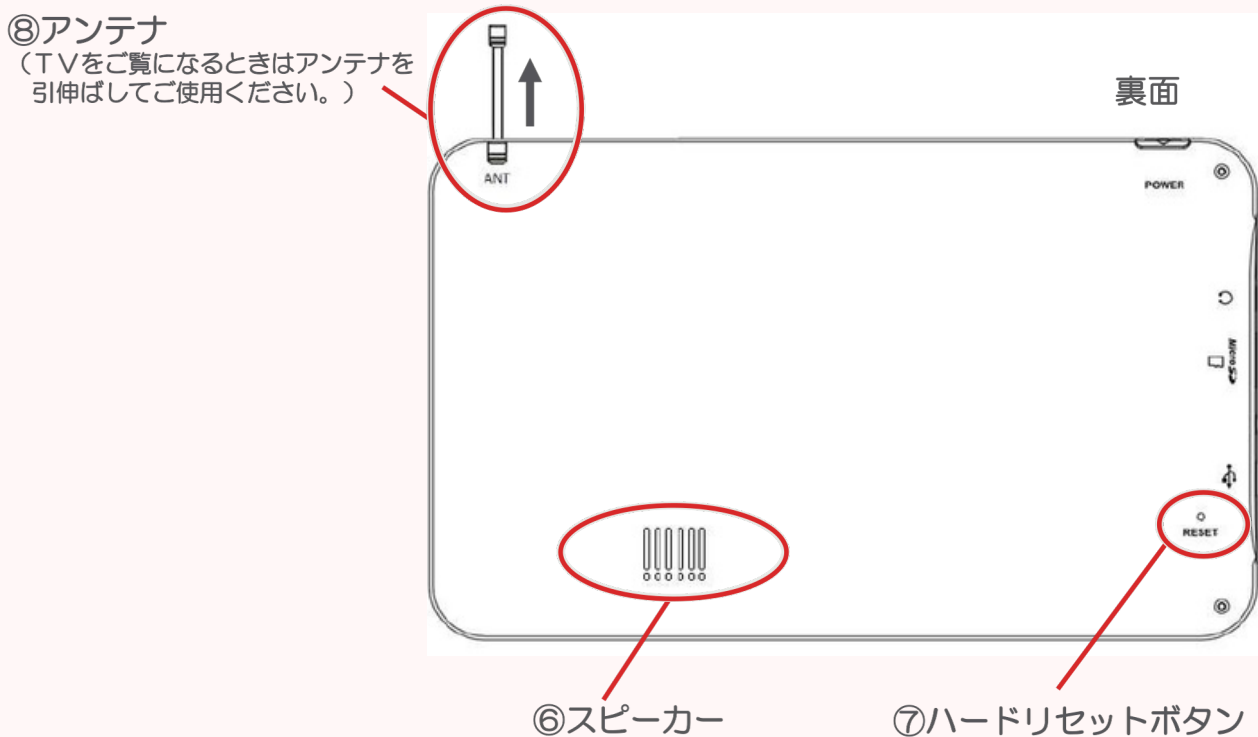
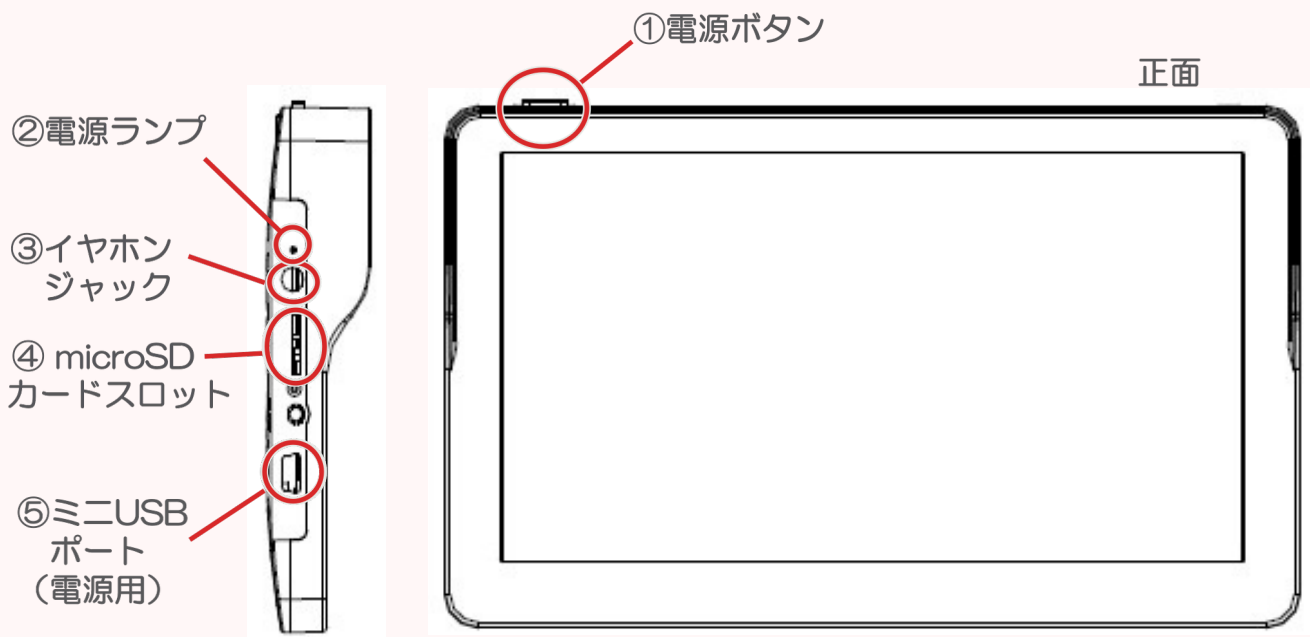
5 各部の名称

電源ランプについて

充電中：赤点灯

充電完了：消灯

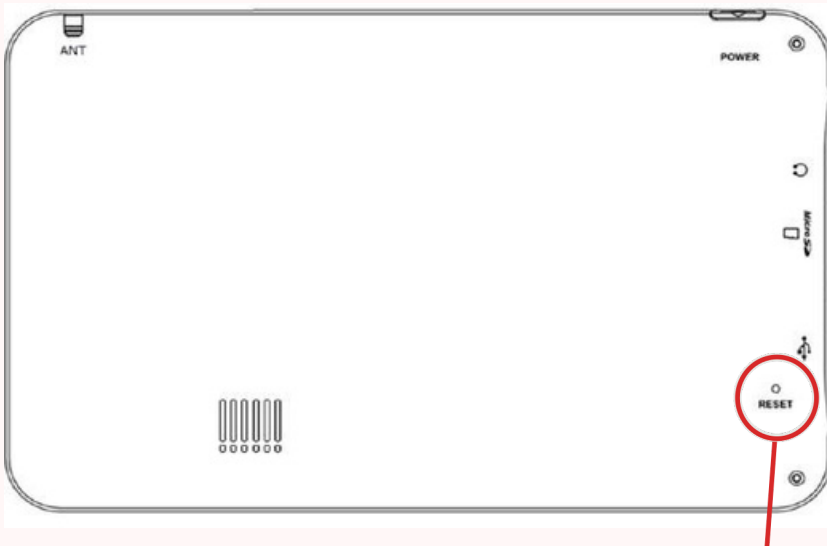
バッテリー駆動時：緑点灯



6 リセット機能

【ハードリセット】

本機になんらかの障害が発生しハードリセットを行う場合は、クリップのような細くて折れにくいもの（先のとがっていないもの）でハードリセットボタンを軽く押し、ハードリセットを行ってください。



ハードリセットボタン

※メニュー操作中や地図表示中になんらかの原因で画面がフリーズしてしまった場合は、上記のハードウェアリセットボタンを先の細いもので押してリセットを行ってください。

パネルの保護フィルムについて

本機種は出荷時に液晶パネル面に製造時および輸送時のキズ防止のために、保護フィルムが貼られています。
ご使用になる際は、剥がしてお使いください。
貼ったままにしていると、画面上に縞模様がでたり、タッチパネルのタッチスイッチの動作不良になることがあります。



保護フィルムをはがす。

7 車への取付け

前方視界基準について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に従って、運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付けてください。

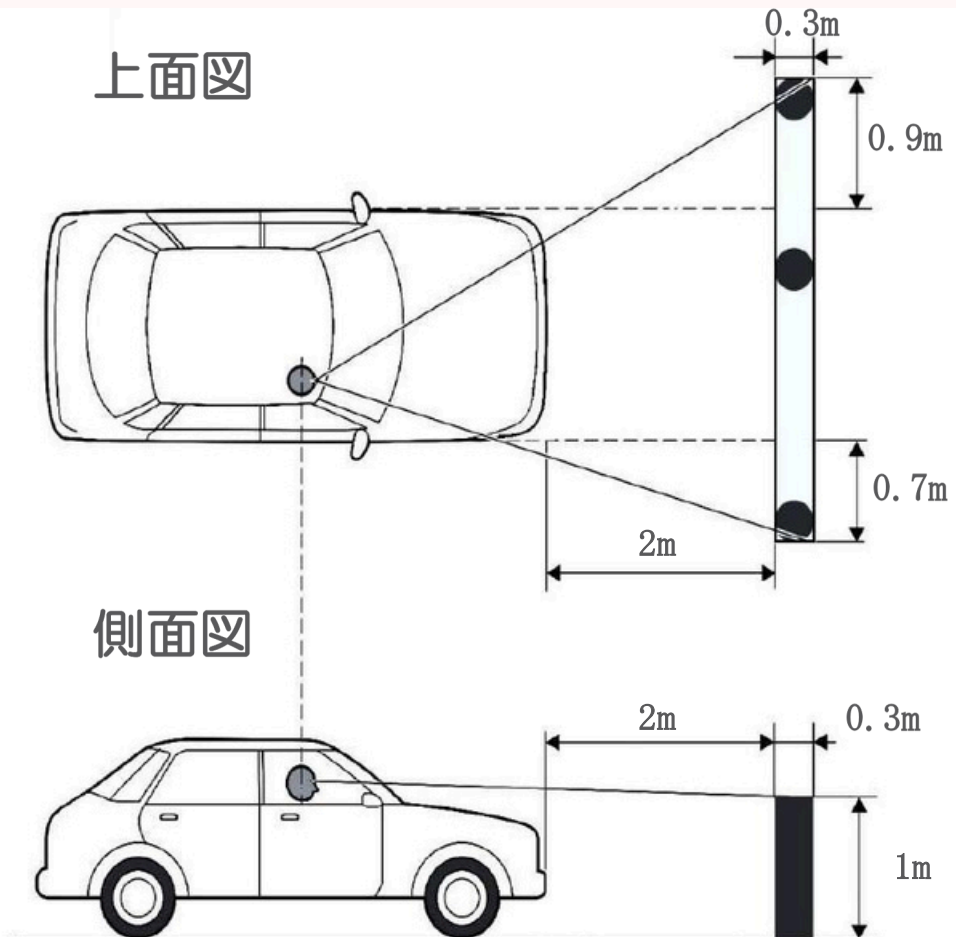
前方視界基準

●対象車両

専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く）
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

●基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱
（6歳児を模したもの）を鏡等を用いず直接視認できること。

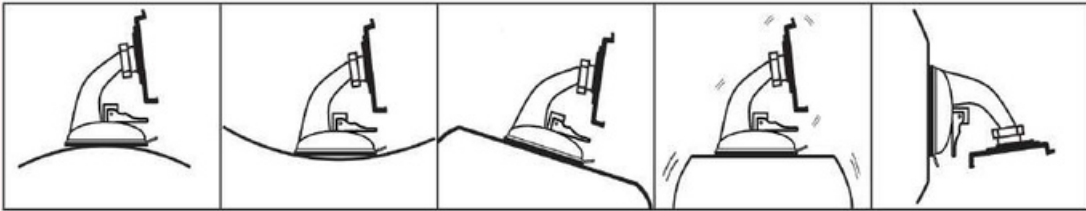


※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右が逆になります。

取付けについてのご注意

- 付属のスタンドを使用してください。
- エアーバックカバー部及び作動時の妨げになる場所には取付けないでください。
(取付けについては安全を考慮して、ディーラーや販売店にご相談ください。)
- フロントガラスには取付けないでください。
- スタンドを取り付ける際は、凹凸の無い平らな面をお選びください。
- 柔らかい材質、布製、革製の面には取付けできません。
- 下記のような場所には取り付けないでください。
※スタンドが落下するおそれがあります。

・密着しない曲面 ・密着しない曲面 ・傾いた面 ・不安定な面 ・垂直な面
例) 凸面 例) 凹面



- ダッシュボード上に吸着ベース板を貼る際は、**前方視界を十分に確保**でき安全基準を満足できる位置を決定後貼り付けてください。
- 吸着ベース板を貼り付ける前にワンセグTV用アンテナを伸ばしフロントガラス等にあたらぬことを確認してください。
- 吸着ベース板を貼付け位置が決定したら、貼付け面のほこりや油分などを十分にふき取ってから貼り付けてください。
- 市販の両面テープ前処理剤等を使用するときれいにふき取れます。使用される場合は説明書をよくお読みになり、貼り付け面にはがれ、変形、割れ等の不具合の無いこと確認の上、取説に従ってご利用ください。
- 両面粘着テープの貼付けは一回のみです。**貼り直しはしないでください。**
(貼付け強度が極端に落ち、落下の恐れがあります。)
- 両面粘着テープは貼付け直後は接着強度が弱いため、24時間以上おいてから製品を取り付けてください。
- 両面粘着テープを剥がすときは、強力な粘着テープを使用しているため、貼付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- ご使用になるまえに、吸盤、ロック、粘着テープ等が**確実に取付いていることを確認**してからご使用ください。
- **直射日光の当たる高温になる場所に長時間放置しないでください。**
発火、変形、劣化による落下の原因になることがあります。

《注意》

ダッシュボードの上など直射日光の当たる高温になる場所でご使用になる場合ご使用にならないときは外して高温にならないところで保管してください。

また、長時間車から離れる場合は本体をホルダーから外し保管してください。
落下による故障の原因になる場合があります。

スタンドの取付け方法

※形状、イラストは実物と異なることがあります。

運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付位置を決めます。

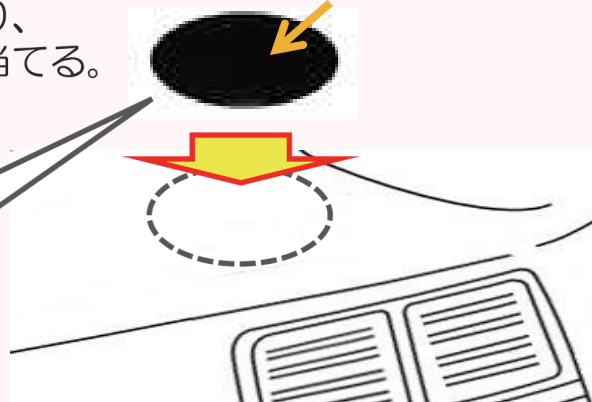
①吸盤ベース板の貼付け

貼付面のほこりや油分などをきれいにふき取り、両面テープの台紙をはがし取付面に強く押し当てる。
(貼付け後は24時間以上置いてください。)

裏面のシールを剥がす



吸盤ベース板



②スタンドの組立て

- デバイスホルダーの4個の穴にスタンドのフック部を入れる。
- スタンドのフック部にカチッとロックするように、デバイスホルダーを矢印の方向に両手でスライドさせる。

ホルダーの穴をスタンドのフックに合わせる。



デバイスホルダーを矢印の方向にスライドさせる。

※デバイスホルダーは強度上ロックを強くしています。スライドさせる際は強めに押してください。

※デバイスホルダーとスタンドが組立られて納入されている場合は、フック部がしっかりロックされていることを確認下さい。

※デバイスホルダーをスタンドから外してお使いの際は、逆方向に両手でスライドさせてはずしてください。

レバー



吸盤

吸盤ベース板

スタンドのフック部



③スタンドの固定

吸着ベースの表面をきれいにふき取りスタンドを置き、レバーを倒して固定する。

※形状、イラストは実物と異なる
ことがあります。

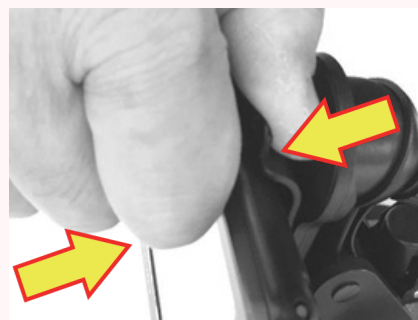
④製品の固定

スタンドの下のツメに合わせ製品本体をカチッとロックする。
(上のツメがカチッとロックしたことを確認してください。)

上ツメ部



カチッ!



※上のツメを親指で、はさむように強く押してください。
液晶パネル面には触れないようにしてください。

下ツメ部

下のツメ部を合わせ上をロックする

⑤角度調整

固定ナットをゆるめ、お好みの
角度に調整して固定ナットをしめる。



《 注意 》

運転前に必ず、吸盤、固定ナット、粘着テープ、ロック
が確実に取付いているか確認の上ご使用ください。

※万が一、落下等による液晶、タッチパネルの破損がございましたも、
補償対象外となりますのであらかじめご了承願ください。